

(資料2)別添2－1:抽出された課題

No.	情報源	意見・課題の要旨	主な対象エリア
1	R6第1回推進会議	夜の商売が多く、コミュニティ未加入の店舗による悪質な事業系ごみの不法投棄が常態化している。	上野
2	R8第1回推進会議	不確実性の時代では、2030年にこうありたいという姿から起算した「バックキャスト」の考え方が重要。	全域
3	R8第1回推進会議	住みやすさの向上、産業の発展、伝統・文化の継承の3つが、4年後に目指す姿である。	全域
4	R8第1回推進会議	高齢者が多い地域における生活不安への懸念を解消するため、民泊の適正運営を目指すべきである。	全域
5	R8第1回推進会議	来訪者層の偏りが加速している	全域
6	R8第1回推進会議	歴史文化への理解や地域との調和を重視した観光地を目指すべきである。	全域
7	R8第1回推進会議	古くからの商人などの住人が去り、マンションなどが建って新住民が流入し人口構成が変化してきたので、祭りなどを支える地縁コミュニティが成り立たない。	全域
8	R8第1回推進会議	民泊が増えて、コミュニケーションが成り立たない。	全域
9	R8第1回推進会議	祭りに対する観光からの支援も考えるべき。	全域
10	R8第1回推進会議	台東区は家屋が密集しているので、行政としても民泊問題には特に対策が必要である。	全域
11	R8第1回推進会議	地域資源への関心が高い来訪者を増やす必要がある。	全域
12	R8第1回推進会議	長期的なビジョンを見据えたうえで、スタートを切れるような内容にするとよい。	全域
13	R8第1回推進会議	まちづくりビジョンなどの都市計画との連動を図るべき。	全域
14	R8第1回推進会議	世界的な観光資源を有する反面、課題先進都市でもある台東区では、モデルケースとなるような先進的な取り組みを実施していくべきである。	全域
15	R8第1回推進会議	観光をよくするには、観光の所管でない範疇にも積極的に働きかけを行っていくべき。	全域
16	R8第1回推進会議	いろいろな行事を行っているし、人材も豊富なので、町会と連携するべき。	全域
17	R8第1回推進会議	民泊、旅館業では、防犯、防災、ごみ出しなどに問題が多いので、適正運営の徹底が必要である。	全域
18	R8第1回推進会議	老舗のお店がなくなり、観光客向けの店ばかりが増えている。	全域
19	R8第1回推進会議	行政が、民泊などのルール作りを明確に打ち出すべき。	全域
20	R7計画推進会議	台東区の身の丈に合った形で、消費額が大きい層を狙っていくべき。	全域
21	R7計画推進会議	ものづくりなどの背景を踏まえて、所得の多寡だけではなく、知的好奇心の強い人に着目し、高付加価値層を狙うべき。	全域
22	R7計画推進会議	海外来訪者も困っているので、羽田から上野までの直通バスがほしい。	上野
23	R7計画推進会議	鉄道、バスなど交通上の課題が多いので、観光面からも取り組んでいくべき。	全域
24	R7計画推進会議	海外来訪者に対し、マナーを教える場がない。	全域
25	R7計画推進会議	ゴミ問題が指摘されているが、観光地としての受入環境も踏まえゴミ箱を整備して行く方法もある。	全域
26	R6計画推進会議	ロッカーが満杯などところが多い。コインロッカーがあるところの案内、設置スペースの案内などを整理してほしい。	全域
27	R6計画推進会議	並んでいる店舗に順番待ちシステムを導入することで、店、お客様、近隣の店舗にもメリットがある。	全域
28	R6計画推進会議	ロッカーの空き状況案内や手荷物預かり、配送サービスでは、DXを導入するべき。	全域
29	R6計画推進会議	ゴミ問題は、目の前で拾っていくぐらいの、ごみを捨てるマインドを起こさせないようにするのがよい。	全域
30	R6計画推進会議	ゴミ問題の啓発は、継続性が重要である。	全域
31	R7実態調査	案内サイン類や観光情報の入手など、情報提供において満足率が有意に低下している。	全域
32	R7実態調査	海外在住者は、Wi-Fi環境への不満を示した。	全域
33	R7実態調査	観光に対する受入意識は、観光と生活の不調和を背景に、低下傾向を示している。	全域
34	R7実態調査	観光客のマナー対策	全域
35	R7実態調査	混雑の分散と回遊性の向上	全域
36	R7実態調査	産業と観光の融合	全域
37	R7実態調査	観光活用による文化資源の保全と持続可能な継承	全域
38	R7実態調査	宿泊業、飲食サービス業の生産性の低さ	全域
39	R7実態調査	受け入れ人数の制限や抑制など	全域
40	R7実態調査	観光税や宿泊税を徴収して、区民へ還元する施策がほしい。例:美術館の割引、住民税の減税、クーポン等	全域
41	R7実態調査	海外来訪者に対するマナーやルールの周知を徹底してほしい。例:ゴミ箱の増設、清掃の強化、路上喫煙の取り締まり、観光バス、白タクの違法駐車、運転への取り締まり	全域
42	R7実態調査	インフラ整備 例:浅草駅のエレベーター、エスカレーター増設、公共交通機関の混雑対策	全域
43	R7実態調査	安易な再開発や粗悪な店舗の増加への懸念を背景とした、古いまちなみや景観の保全	全域
44	R7実態調査	浅草駅周辺などにおけるエレベーター・エスカレーター増設といったバリアフリー対応の強化、及び公衆トイレの美化・増設等のインフラ整備が要望されている。	全域
45	R7実態調査	観光基盤(施設・道路等のバリアフリー化や公衆トイレの整備など)の整備が区民生活の向上につながると、9割強の区民が肯定的な意見を示している。	全域
46	R7実態調査・推進会議・他自治体計画	「多様な来訪者」の戦略的ポートフォリオ化	全域
47	R7実態調査・他自治体計画	全産業への波及とイノベーション創出	全域
48	R8第1回推進会議・他自治体計画	持続可能な地域経営システム(財源・恩恵可視化・需要マネジメント)	全域
49	推進会議・他自治体計画	科学的マネジメント(EBPM)への移行	全域
50	推進会議資料	急激なマクロ外部環境変化への適応	全域
51	R8第1回庁内検討会	関連計画(まちづくり・ハード整備)との役割分担の明記	全域
52	R8第1回庁内検討会	観光政策や地域活動に、若い世代や子どもの視点・参加を組み込む仕組みが必要(委員会見学や意見提出など)。	浅草
53	R8第1回庁内検討会	自己満足の数値ではなく、トライ＆エラーの効果検証や改善点を発見できる厳格な評価システムが必要。	全域
54	追加ヒアリング	ナイトタイムエコノミー促進のため、客引き等の環境浄化を進めつつ、外国人対応可能な小規模店舗の回遊を促進すべき。	上野
55	追加ヒアリング	災害時の備えを強化するべき。	上野